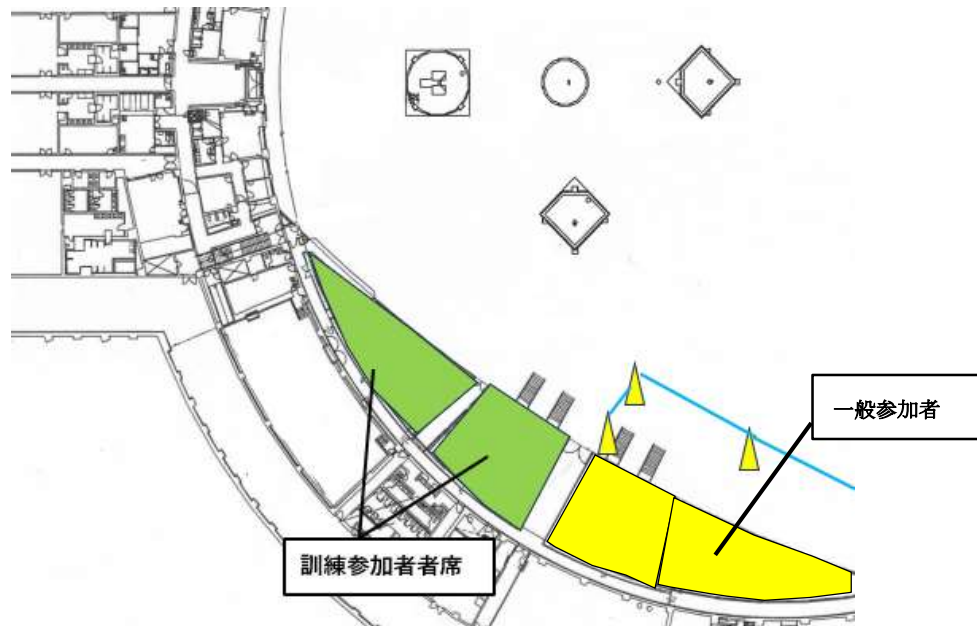
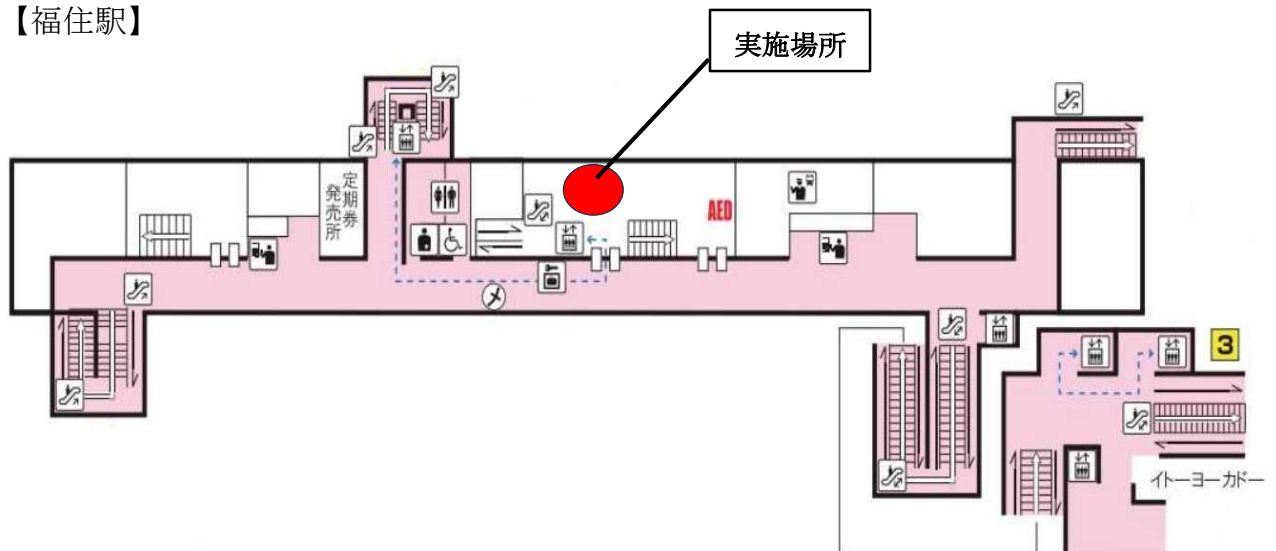


【1】シェイクアウト訓練実施要領（訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
13 時 30 分から 13 時 31 分	札幌ドームアリーナ及び福住駅
訓練概要	
・地震発生と同時に、札幌ドーム内の訓練参加者全員で地震発生時頭部を保護しながら、自らの身の安全確保を行う。※訓練開始場所が札幌ドーム以外の場合は、各場所において実施するものとする。	
訓練行動	
1 13 時 30 分 2 13 時 01 分	地震を覚知 ・大型ビジョンによるイメージ映像及び場内アナウンスにより、会場内の照明を落とした中で、頭部を保護しながら、それぞれの場所でできる「自らの命を守る行動」をとる。 ・揺れが収まったのを確認後、自席にある非常持出袋を持参して、避難を開始する。 ・地下鉄福住駅の場合は、同時刻に区役所職員の合図を起点に福住駅構内で「自らの命を守る行動」をとる。
参加団体及び人員（13 団体 計約 260 名）	必要資機材
(1)豊平区町連（豊平地区、美園地区、月寒地区、平岸地区、西岡地区、福住地区、南平岸地区は札幌ドーム 210 名、東月寒地区、中の島地区 60 名は福住駅）合計 270 名 (2)区役所職員 15 名（調整） ※福住駅は上記 15 名のうち 4 名を予定 (3)ペット避難者 10 名（調整中） (4)要配慮者 10 名（調整中） (5)外国人 10 名（調整中） (6)豊平消防団 6 名（調整） (4)札幌ドーム職員 数名（調整）	(1)ビブス（職員）20 名分（調整）（豊平区役所で調達） (2)非常持出袋 約 300 名分（豊平区役所で調達） ※福住駅からの避難者へは、札幌ドームアリーナへの入口で配布する。
会場図	

【札幌ドーム】



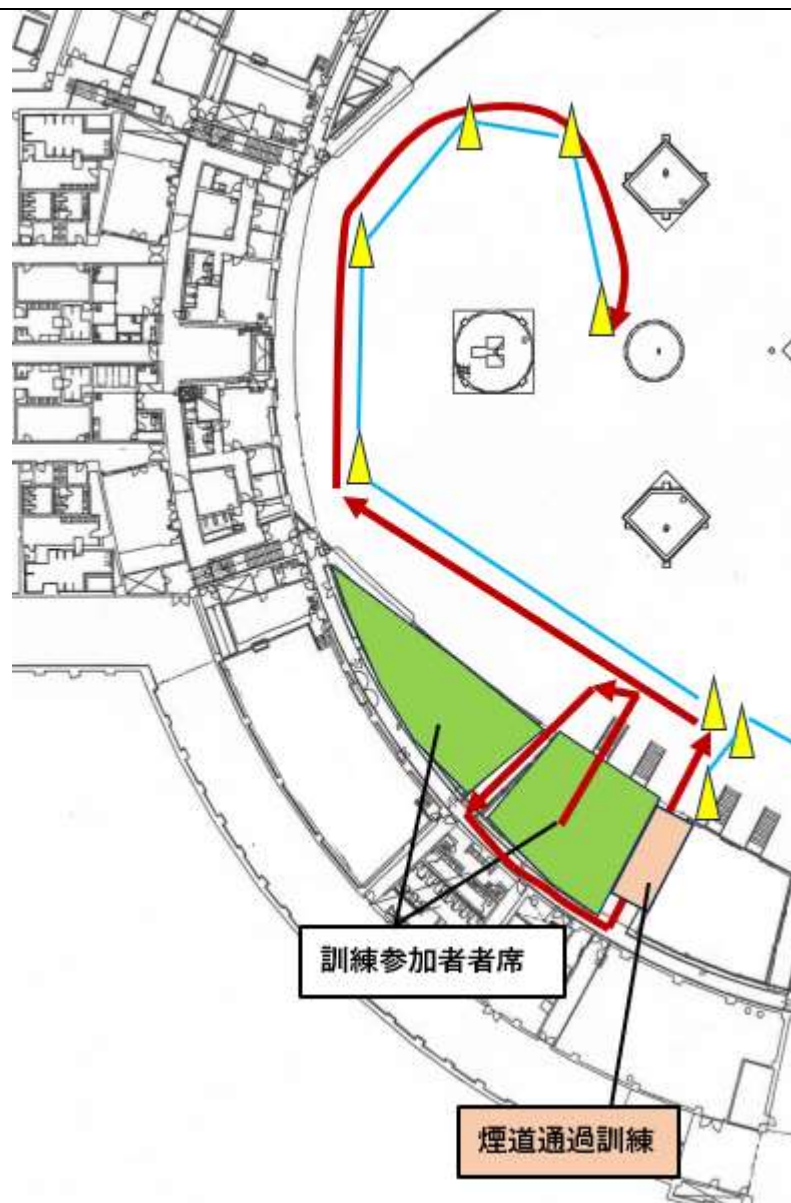
【福住駅】



※福住駅構内でのシェイクアウトは約 20 名ほどを予定（要配慮者、外国人含む）
その他の避難予定者は 3 番出口（地上）で実施する。

備考

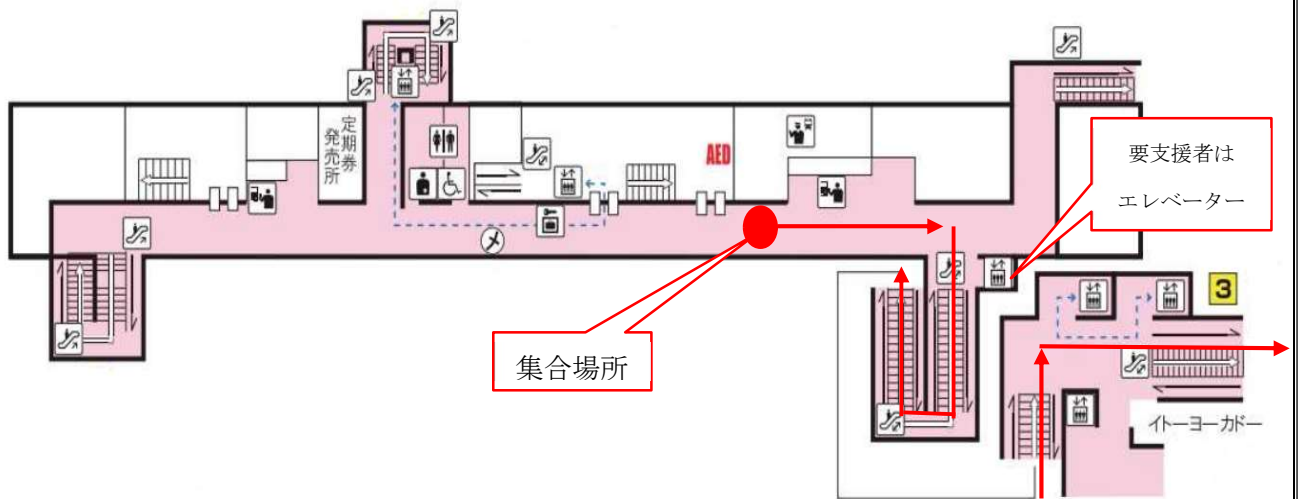
【2】－(1) 避難訓練 アリーナ内避難実施要領（訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
13 時 01 分から 13 時 40 分	札幌ドームアリーナ
訓練概要	
・ 訓練参加者席から階段を降りアリーナ内へ移動、矢印に沿って進み避難する。 ・ 途中、煙道を通過し煙の中での避難行動を実施する。	
訓練行動	
1 13 時 31 分	・ 各地区の代表は協力して、避難経路の確認と負傷者の発生の有無及び避難困難者の把握をする。 ・ 区役所職員がメガホンで避難者に対して経路を説明、自席にある非常持出袋を持参して、避難者全員で協力しながら避難経路を通りアリーナ内へ避難を開始する。 ※途中煙道内を通過して避難。
2 13 時 32 分	
参加団体及び人員(13 団体 計約 270 名)	必要資機材
(1)豊平区町連（豊平地区、美園地区、月寒地区、平岸地区、西岡地区、福住地区、南平岸地区） 約 210 名 (2)区役所職員 15 名（調整） (3)豊平消防団 6 名（調整） (4)札幌ドーム職員 数名（調整）	(1)メガホン（区職員分） 7 個（豊平区役所で調達） (2)プラカード（7 地区分） (3)煙道通過装置 1 式（豊平消防署で調達） (4)懐中電灯 7 個（豊平区役所で調達）
会場図	



備考

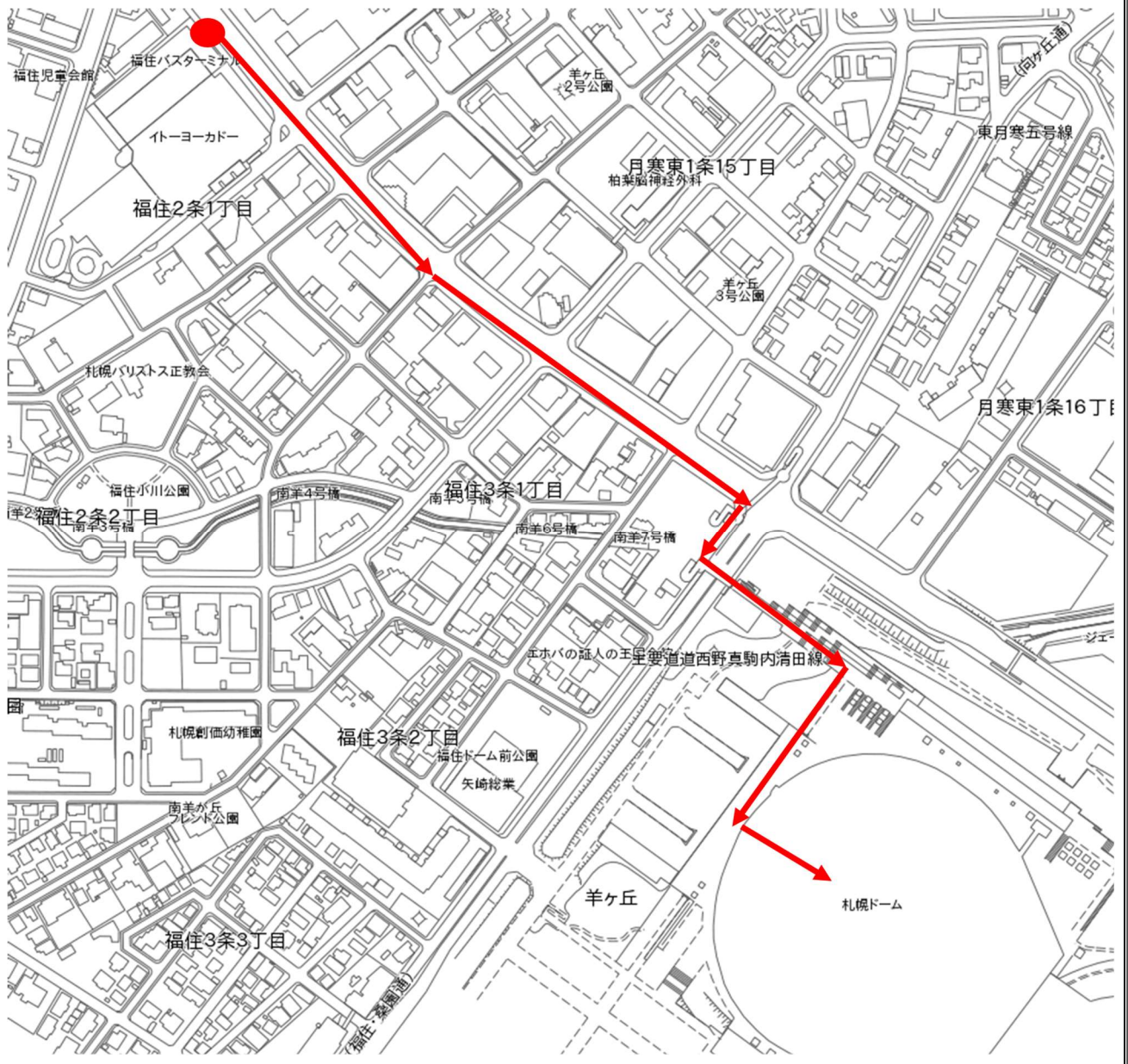
【２】－(2) 避難訓練 地下鉄福住駅からの避難実施要領（訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
13 時 31 分から 13 時 50 分	札幌ドームアリーナ及び最寄り地下鉄駅
訓練概要	
・地下鉄福住駅コンコースから地下鉄利用者及び帰宅困難者（豊平区町連、ペット同伴者、要配慮者・介助スタッフ、外国人）を交通局職員が先導し、地上まで誘導。その後当該避難者で協力して札幌ドームアリーナ内へ避難。	
訓練行動	
1 13 時 31 分	・交通局職員は、地下鉄ホームやコンコースの被害状況、負傷者の発生の有無を確認する。施設利用者及び帰宅困難者を一旦コンコースへ集結させる。
2 13 時 33 分	・被害状況、負傷者の発生、避難者の人数について、駅長が把握し、交通局指令本部へ報告。
3 13 時 35 分	・駅員が避難者に対して状況を説明、避難者全員で協力して札幌ドームアリーナ内へ避難を開始する。ペット同伴者は福住駅 3 番出口地上部分で合流。
4 13 時 45 分	・札幌ドーム西ゲートよりアリーナ内へ移動。※途中煙道を通過して避難所へ避難。
参加団体及び人員（7 団体 計約 70 名）	必要資機材
(1)豊平区町連（中の島地区、東月寒地区） 各 25 名 (2)交通局職員 数名（調整） (3)区役所職員 2 名 (4)札幌市自立支援協議会豊平区地域部会 要配慮者・介助スタッフ 数名（調整） (5)ペット同伴者 数名 (6)外国人（国際プラザ職員含む） 10 名（調整）	(1)メガホン 2 個（豊平区役所で調達） (2)プラカード（中の島地区、東月寒地区）（受託者で調達） (3)無線機 1 台（豊平区役所で調達）
会場図	

【福住駅構内】



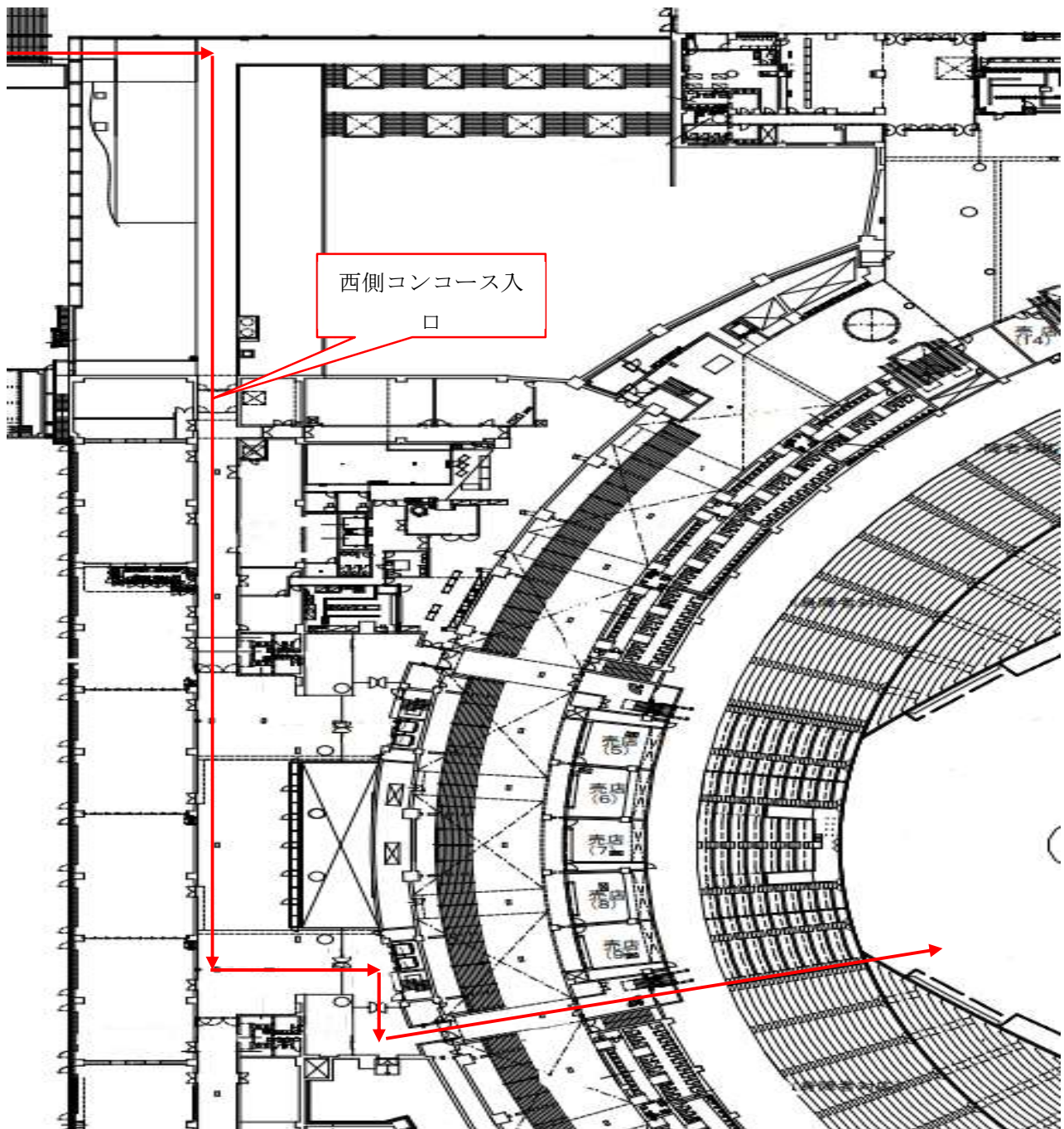
①コンコース集合位置でシェイクアウト②駅員の誘導により赤線に沿って避難。※要支援者はエレベーターで地上へ移動。③ペット同伴避難者は地上で合流

【福住駅から札幌ドーム】



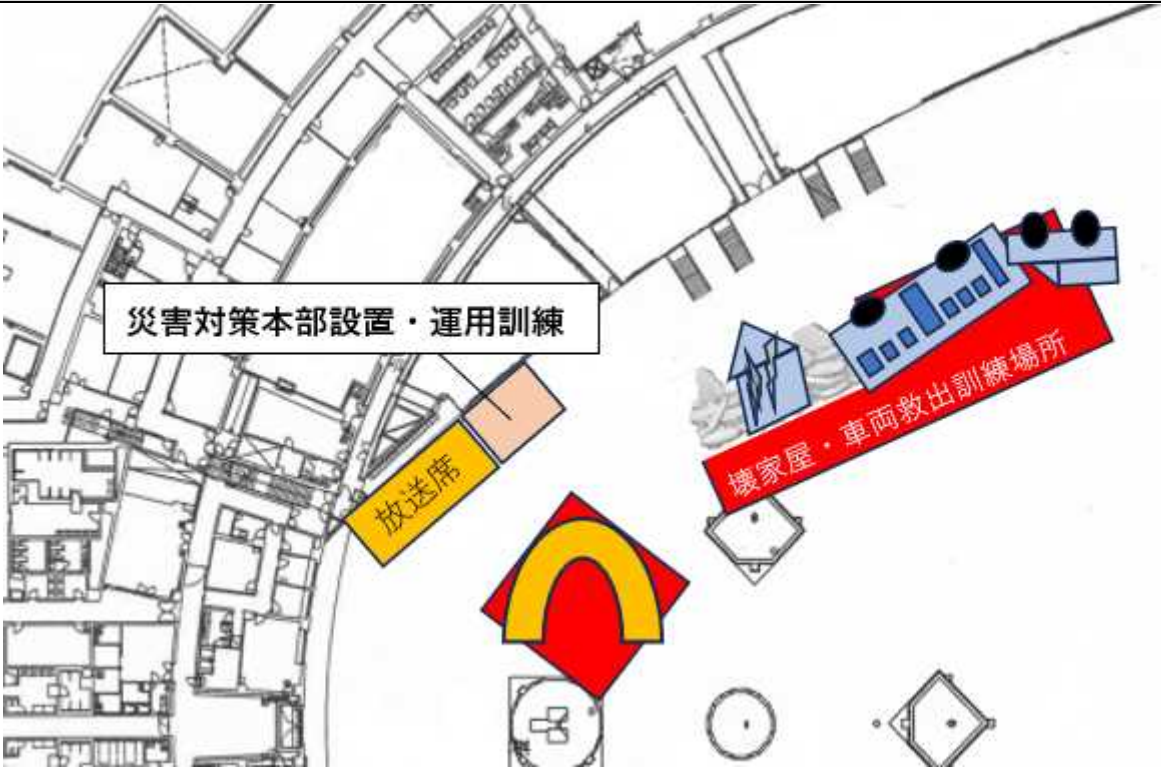
- ①地下鉄福住駅から徒歩で国道36号線を札幌ドームへ向かう。
- ②札幌ドーム前歩道橋を通り、札幌ドーム西側コンコース入口へ
※要支援者はエレベーターを使用。

【札幌ドーム内】



- ①西側コンコースを通り、西側入口を通過し、階段でアリーナ内へ移動
※要支援者はエレベーターを使用しアリーナ内へ
- ②煙道を通して、避難所まで移動。

備考

【 3 】 災害対策本部設置・運用訓練 （訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
13 時 01 分から 13 時 34 分	アリーナ 3 塁側ベンチ付近
訓練概要	
・市内に甚大な被害が発生していることから、札幌市の災害対策本部設置に伴い、豊平区役所へ区災害対策本部を設置、区長を中心に災害情報の収集を行い、地域の消防・警察と連携して関係機関への対応について職員へ指示・命令する。	
訓練行動（訓練参加者集合時間 13 時 25 分）	
1 13 時 31 分	・区役所 4 階会議室を想定し区災害対策本部を設置、運用を行う。 ・情報の収集と各種指示命令を行うとともに、消防、警察との連携を図る。 ※区災害対策本部にはリエゾンとして消防職員 1 名を配置する。
参加団体及び人員（3 団体 計 8 名）	必要資機材
(1)豊平区：豊平区長、各部長 (2)豊平消防署：職員 1 名	(1)長机× 4 (2)椅子× 5 (3)ホワイトボード× 2 ※各資機材は札幌ドームから借用
会場図	
	
備考	

【４】被害状況把握・情報伝達及び医師搬送訓練（調整担当：豊平消防署）

実施時間（13：35～13：45）

13:30 13:35 13:40 13:45 13:50 13:55 14:00 14:05 14:10 14:15 14:20 14:25 14:30 14:35 14:40 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30

訓練会場

札幌ドームオープンアリーナ及び屋外サッカー練習場

訓練想定

石狩中部を震源とした札幌市直下型地震が発生。市内数か所において震度７を観測し、家屋の倒壊や火災が随所で発生したことに加え、電気、水道、ガスなどのライフライン機能の停止、国道を含む主要幹線道路が寸断されるなど全市域に甚大な被害を及ぼした。

訓練概要

北海道防災航空隊のヘリコプター及び消防ドローンにより、被災状況を確認し、現地合同調整所に情報を伝達する。また、医師を札幌消防ヘリコプターで被災地区直近まで搬送し、災害現場までは、救急隊と協力して車両搬送を実施する。

参加団体及び人員（４団体 計 17 名）

- | | |
|--------------------|-----|
| (1) 豊平消防署 | 3 名 |
| (2) 札幌市消防局航空隊 | 6 名 |
| (3) 北海道防災航空隊 | 5 名 |
| (4) 市立札幌病院（ドクターカー） | 3 名 |

参加車両等（計 3 台）

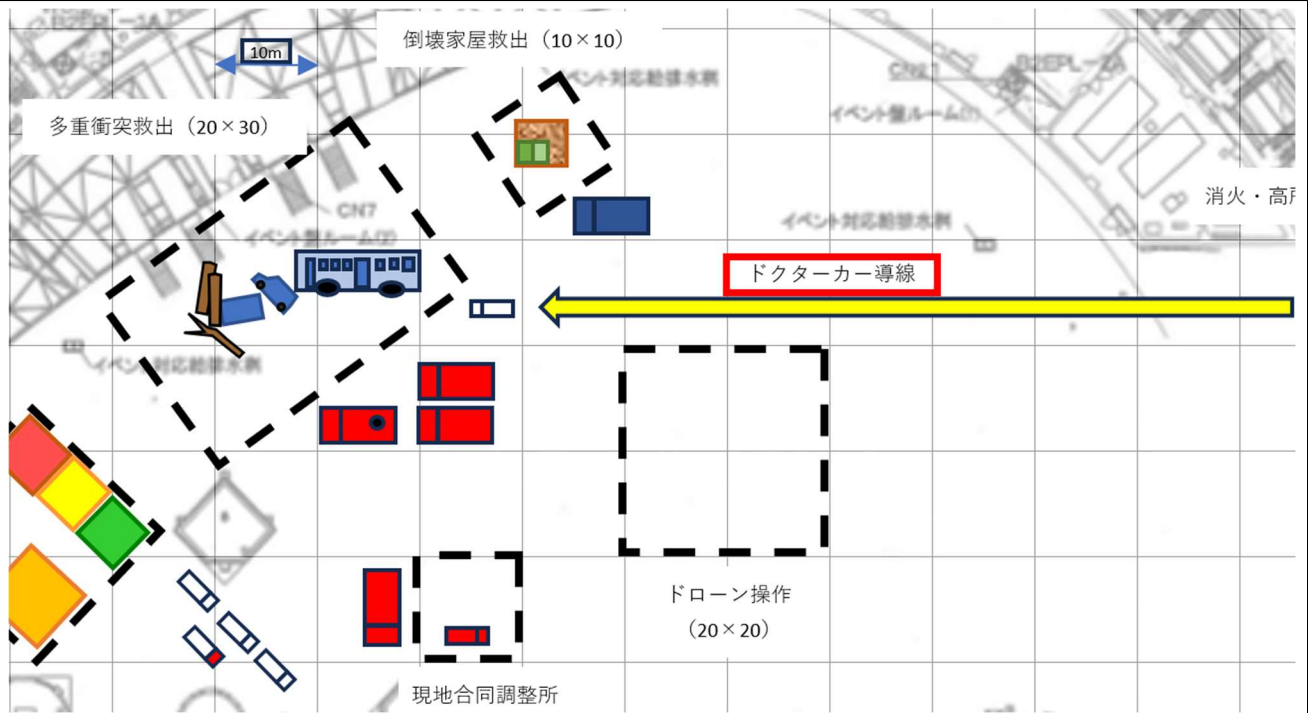
- | | |
|--------------------|-----|
| (1) 非常用救急車 | 1 台 |
| (2) 札幌市消防航空隊ヘリコプター | 1 機 |
| (3) 北海道防災航空隊ヘリコプター | 1 機 |

必要資機材

訓練行動

- 13:35 ・北海道防災航空隊のヘリコプターが、上空から被害状況の確認を実施し、札幌ドーム周辺の上空を巡回して無線により報告。「豊平区上空を確認中、札幌ドーム付近で交通事故の発生や、白煙の上昇を確認。13 時 37 分まで継続確認したのち離脱する。」
- 13:37 ・川沿水槽隊が消防ドローンにて、被害状況の確認を実施し、無線にて報告を実施する。
- 13:38 ・札幌市消防航空隊ヘリコプターが市立札幌病院医師をピックアップし、災害現場付近のヘリ離着陸場まで搬送する。
- 13:43 ・警防救急隊により、ヘリ離着陸場から救助現場まで搬送する。

会場図



備考

- ・位置詳細は訓練図参照

令和6年度札幌市総合防災訓練 被害状況把握・情報伝達及び医師搬送訓練（13:35～13:43）

訓練内容：上空から被害状況を把握し、現地合同調整所に情報を伝達する。また、医師を消防ヘリコプターで搬送し、災害現場まで救急隊と協力して車両搬送を実施する訓練

参加機関：豊平消防署、札幌市消防局航空隊、北海道防災航空隊、市立札幌病院、札幌医科大学附属病院



【5】現地合同調整所訓練（調整担当：豊平消防署）

実施時間 (13 : 40～14 : 20)

13:30 13:35 13:40 13:45 13:50 13:55 14:00 14:05 14:10 14:15 14:20 14:25 14:30 14:35 14:40 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30

訓練会場

札幌ドームクローズドアリーナ内

訓練想定

石狩中部を震源とした札幌市直下型地震が発生。市内数か所において震度 7 を観測し、家屋の倒壊や火災が随所で発生したことに加え、電気、水道、ガスなどのライフライン機能の停止、国道を含む主要幹線道路が寸断されるなど全市域に甚大な被害を及ぼした。

訓練概要

消防、自衛隊、警察及び関係機関が安全かつ迅速に活動するために、現地合同調整所を設け、各種被害情報を共有し、活動範囲、活動部隊等の調整を図る訓練

参加団体及び人員（10 団体 計 20 名）

- | | | |
|------|-------------------|-----|
| (1) | 豊平消防署 | 5 名 |
| (2) | 陸上自衛隊第 1 1 旅団 | 2 名 |
| (3) | 北海道警察本部 | 2 名 |
| (4) | 札幌医科大学附属病院 (DMAT) | 1 名 |
| (5) | 公益社団法人北海道看護協会 | 1 名 |
| (6) | 札幌市医師会 | 1 名 |
| (7) | 南消防署 | 1 名 |
| (8) | 豊平消防団 | 3 名 |
| (9) | 江別市消防本部 | 2 名 |
| (10) | 北広島市消防本部 | 2 名 |

参加車両等 (計3台)

- | | |
|---------------|-----|
| (1) 豊平消防署 指揮車 | 1 台 |
| (2) 自衛隊救助部隊 | 1 台 |
| (3) 北海道警察 | 1 台 |

必要資機材

- (1) 旗
- (2) 旗用ポール
- (3) 訓練用図面
- (4) 指揮テーブル

訓練行動

13:40 消防一担当課長の指揮のもと、災害現場の図面を活用しながら被害状況の共有と活動エリアを決定する。「地震により発生した倒木に走行中の車両が巻き込まれ、後続を走行していた大型バスを含む車両数台による多重衝突事故が発生した。負傷者が多数いる模様。さらに、一部倒壊した家屋や、北側の高層ビル付近では火災が発生し、避難不能になった要救助者情報あり。」

豊平高度救助隊含む札幌消防 4 隊、自衛隊、豊平消防団は、多重衝突事故現場に向かい、早期に事故状況や要救助者情報等の災害実態を報告し、迅速な要救助者の救出活動を実施してください。

平岸機動水槽隊及び平岸機動はしご隊と豊平消防団、江別、北広島の消防部隊は高層ビル付近での火災対応をしてください。

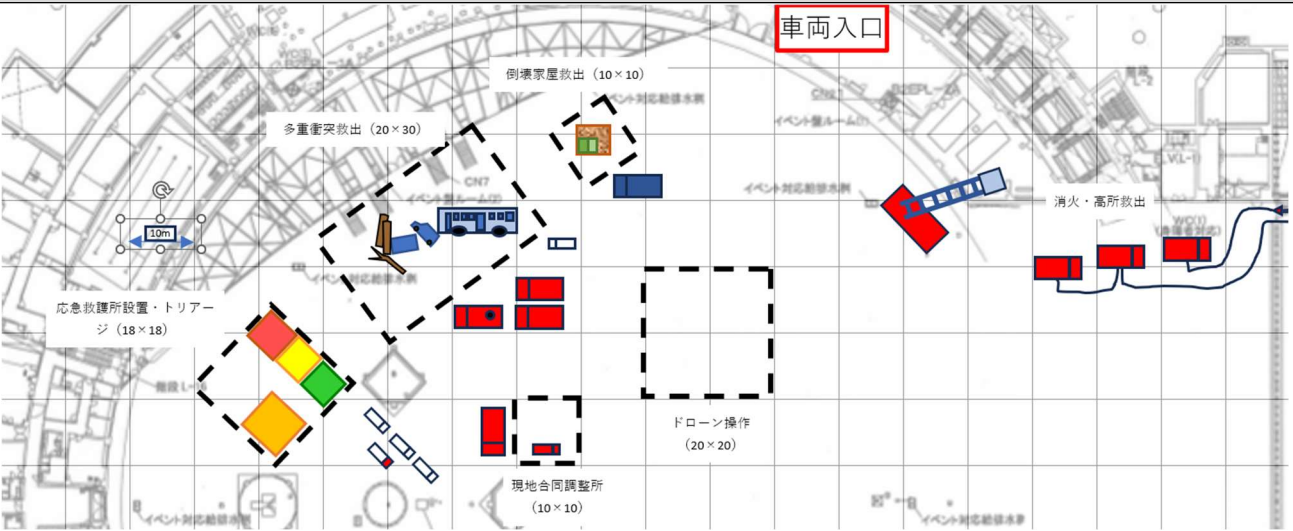
北海道警察本部は、土砂による倒壊家屋現場に向かい生存者の確認及び救出活動を実施してください。

13:45 応急救護所の救急指揮者を指定

医療機関は関係機関と連携して負傷者の処置を行ってください。

以後、各機関の進捗状況を確認し、無線内容等を指揮版に記載してください。

会場図



備考

- ・位置詳細は訓練図参照

令和 6 年度札幌市総合防災訓練 現地合同調整所訓練（13:40～14:20）

訓練内容：消防、自衛隊、警察及び関係機関が安全かつ迅速に活動するために、現地合同調整所を設け、各種被害情報を共有し、活動範囲、活動部隊等の調整を図る訓練

参加機関：陸上自衛隊第 1 1 旅団、豊平消防署、北海道警察本部、北海道札幌方面豊平警察署、札幌医科大学付属病院、公益社団法人北海道看護協会、札幌市医師会、南消防署、豊平消防団、江別市消防本部、北広島市消防本部



現地合同
調整所

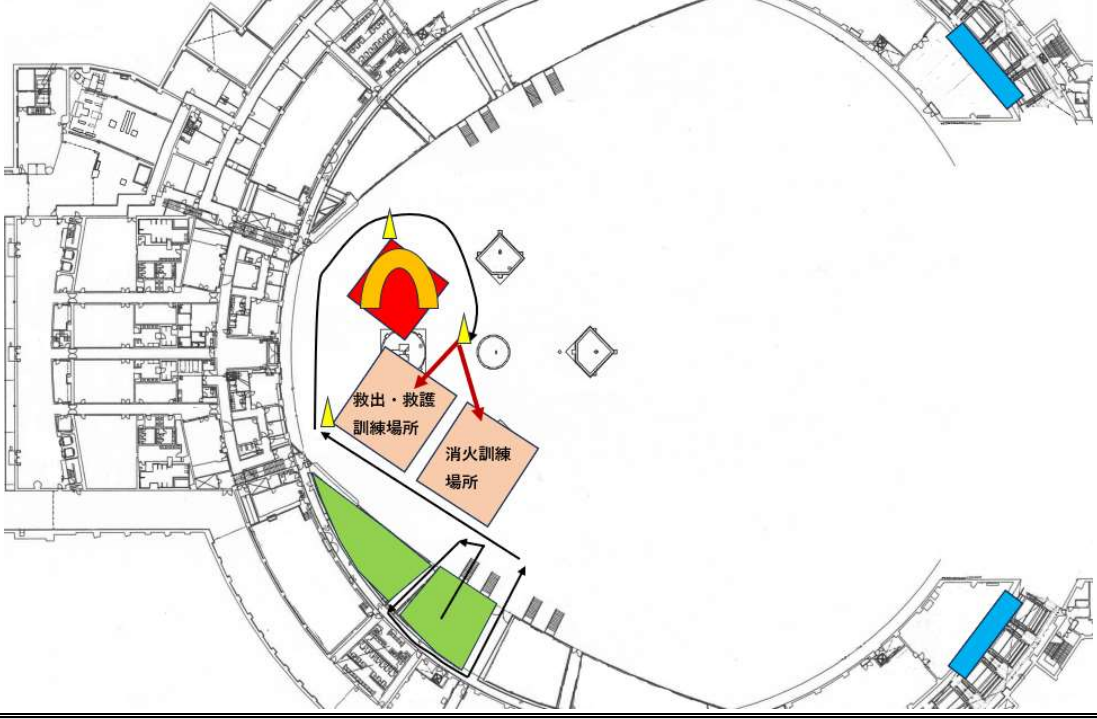
13:40～13:43
各関係機関と災害状況の共有と役割分担を行う。

13:43～
DMATが到着し災害状況の共有

以後、各隊からの訓練進捗状況を確認、適宜、必要な報告を受けてやり取りを行いながら、各機関の無線内容を指揮版に記載する。

※13:35からの道防災の無線からの情報の応答やボードに記載はしていく。

※課題：13時40分からの映像と音声等

【6】消火・救出・救護訓練（訓練責任 豊平区役所）		
実施時間		訓練会場
13 時 40 分から 13 時 50 分		札幌ドームアリーナ内
訓練概要		
・避難途中で火災と瓦礫等に挟まれている人を発見、避難者で協力して消火・救助を行い、救出した方へ救護（三角巾で応急手当）を実施する。		
訓練行動		
1 13 時 40 分	・避難途中、火災の発生及び瓦礫等に挟まれている人を発見。避難者で協力して、初期消火活動と防災資機材を活用した救出を行う。	
2 13 時 50 分	・看板や物置の下敷きから救出した人へ応急処置（三角巾使用）をして、その後避難所へ移動する。	
参加団体及び人員（5 団体 計 38 名）		必要資機材
(1)豊平区町連（消火 平岸地区） 25 名 (2)豊平区町連（救出 豊平地区） 25 名 (3)豊平区町連（救護 月寒地区） 25 名 (4)豊平消防団 6 名 （消火 2 名、救出 2 名、救護 2 名） (5)豊平消防署 2 名（消火）		<消火> (1)消火器用トレーナー×10 個（豊平消防署及び豊平区役所で調達） (2)消火体験装置×2 基（豊平消防署で調達） <救出> (3)自主防災資機材セット×2 セット（豊平区役所で調達） (4)訓練用ダミー×2 体（豊平消防署で調達） (5)廃材等（角材数本）（豊平区役所で調達） <救護> (6)三角巾×20 個（豊平区役所で調達）
会場図		
		
備考		
14 時 40 分からは一般参加者向け消火・防災資機材取扱い訓練エリアとして解放		

【7】土砂及び多重衝突事故救出訓練（調整担当：豊平消防署）

実施時間 (13 : 45～14:05)

13:30 13:35 13:40 13:45 13:50 13:55 14:00 14:05 14:10 14:15 14:20 14:25 14:30 14:35 14:40 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30

[illegible]

訓練会場

札幌ドームクローズドアリーナ内

訓練想定

石狩中部を震源とした札幌市直下型地震が発生。市内数か所において震度 7 を観測し、家屋の倒壊や火災が随所で発生したことに加え、電気、水道、ガスなどのライフライン機能の停止、国道を含む主要幹線道路が寸断されるなど全市域に甚大な被害を及ぼした。

訓練概要

土砂による倒壊家屋では警察の災害救助犬による人命検索及び救助活動を実施する。また、大型バスを含む多重衝突事故が発生し、車内に残されている要救助者を消防、自衛隊が協力して救出し、救出された要救助者を一次トリアージポストへ搬送する。

参加団体及び人員（5団体 計37名）

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| (1) 豊平消防署 | 18名 |
| (豊平水槽5名、美園水槽4名、豊平救助6名、警防救急3名【医師含む】) | |
| (2) 豊平消防団 | 5名 |
| (3) 陸上自衛隊第11旅団 | 6名 |
| (4) 北海道警察本部 | 5名 |
| (5) 市立札幌病院（ドクターカー） | 3名 |

参加車両等 (計5台)

- | | |
|-------------|-----|
| (1) 豊平水槽車 | 1 台 |
| (2) 美園水槽車 | 1 台 |
| (3) 豊平救助車 | 1 台 |
| (4) 自衛隊車両 | 1 台 |
| (5) 北海道警察車両 | 1 台 |

必要資機材

- (1) 各車両積載資器材
- (2) 倒壊家屋×1（豊平区で用意）
- (3) 訓練車両（協栄車両から提供）
- (4) 土砂・砂利・廃材等（豊平区災害防止協力会）
- (5) 訓練用ダミー×3（豊平署で用意）
- (6) 折りたたみ担架×12（消防学校から借用）
- (7) 床シート×2（豊平署で用意）

訓練行動

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 13:45 | ・各車両が現場到着（通報はバス乗客負傷なし） |
| 13:46 | ・豊平救助隊長と北海道警察本部特務中隊長が災害現場で活動方針を共有する。 |
| 13:47 | ・豊平救助、各水槽、各救急、自衛隊は多重衝突事故現場。警察、災害救助犬は倒 |

壊家屋現場での活動を開始する。

- 13:48
- ・災害救助犬が倒壊家屋現場で要救助者捜索開始
 - ・豊平救助、美園水槽は2次災害防止、火災危険の有無を確認し、要救助者救出活動開始
 - ・一次トリアージポストまでの仕切り～救急係長とドクターカーの医師投入
 - ・豊平水槽隊は自力歩行可能者の対応

参考)

要救助者数～倒壊家屋・・・1名～意識なし、呼吸ありレベル300

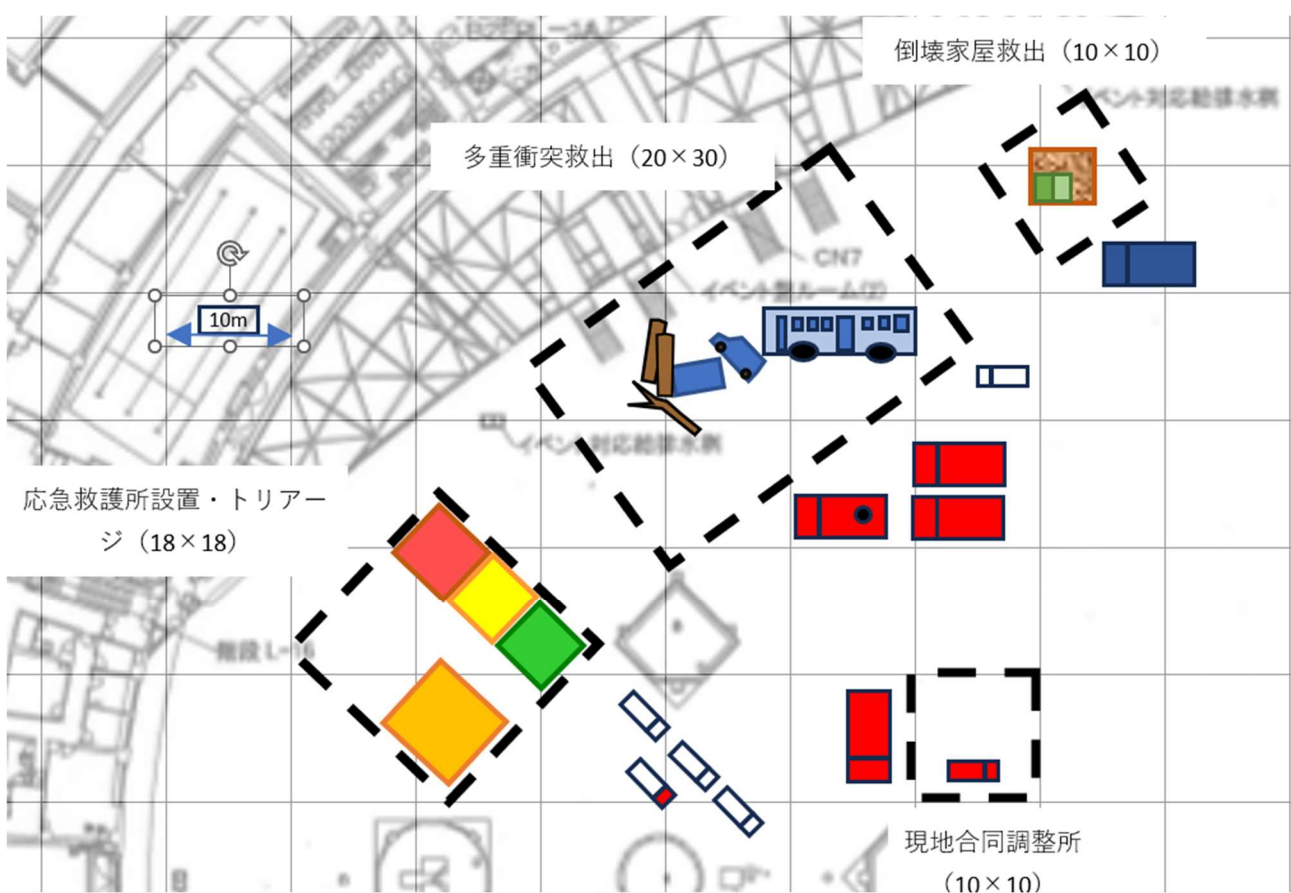
～多重衝突・・・22名～横転車両内運転席1名（意識なし・呼吸あり）、普通乗用車運転手1名（意識あり、下腿挟まれ）、バス車内12名（歩行可能、1名通報者でバス運転手）、バス車内8名（意識あり歩行不能）、

- 13:50
- ・特務中隊が倒壊家屋下の要救助者（ダミー）の救出活動開始
 - ・豊平救助隊が横転車両内の要救助者（運転席：ダミー）救出活動開始
 - ・豊平救助隊が普通乗用車内の要救助者（運転席：生体）救出活動開始

- 14:05
- ・すべての要救助者救出完了

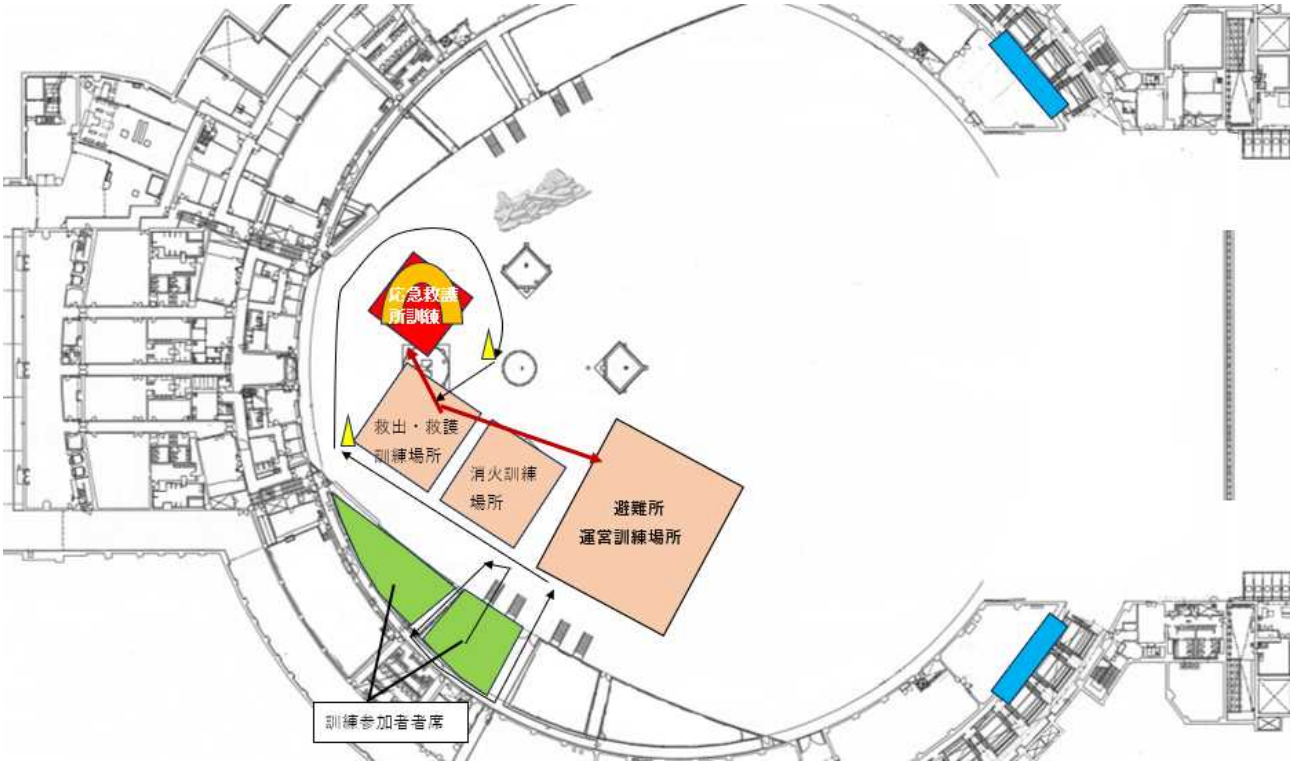
検討事項～救出活動時間、順番、余震対応、車両部署位置

会場図



備考

- ・参加車両の部署位置や動線は訓練図参照

【 8 】 負傷者搬送訓練 （訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
13 時 45 分から 13 時 55 分	札幌ドームアリーナ内
訓練概要	
助け出した軽傷者等を簡易担架、車いすを活用し、応急救護所まで協力して搬送する。（要調整）急いで搬送が必要な負傷者等はタクシー等で搬送する。	
訓練行動	
1 13 時 45 分 救出・救護された方を、緊急者はタクシーや福祉業界車両により病院へ搬送、軽症者は簡易担架、又は車いす等で応急救護所まで協力して搬送する。 2 13 時 50 分 その後、避難所へ移動する。	
参加団体及び人員（6 団体 計 55 名）	必要資機材
(1)豊平区町連（西岡地区、福住地区） 各 25 名 (2)豊平消防団 2 名 (3)タクシー協会 1 名 (4)福祉業界（介護車両） 1 名	(1)簡易担架（豊平消防署で調達） (2)毛布（豊平区役所で調達） (3)物干しざお（豊平区役所で調達） (4)車椅子（豊平区役所で調達）
参加車両等（計 3 台）	
(1)タクシー 1 台 (2)福祉業界（介護車両） 1 台	
会場図	
	
備考	

【 9 】 応急救護所設置・負傷者トリアージ訓練（調整担当：豊平消防署）

実施時間（13：45～14：20）

13:30 13:35 13:40 13:45 13:50 13:55 14:00 14:05 14:10 14:15 14:20 14:25 14:30 14:35 14:40 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30

訓練会場

札幌ドームクローズドアリーナ内

訓練想定

石狩中部を震源とした札幌市直下型地震が発生。市内数か所において震度7を観測し、家屋の倒壊や火災が随所で発生したことに加え、電気、水道、ガスなどのライフライン機能の停止、国道を含む主要幹線道路が寸断されるなど全市域に甚大な被害を及ぼした。

訓練概要

豊平消防署にて応急救護所を設置する。救助現場からの救出者及び避難途中の救出者を応急救護所で受入れ、医師・看護師、救急隊により負傷者のトリアージを実施する。その後、救急車両により病院へ搬送する。

参加団体及び人員（7団体 計〇〇名）

- | | |
|--------------------------------|-----|
| (1) 豊平消防署 | 14名 |
| （東月寒水槽4名、豊平救急4名、平岸救急3名、西岡救急3名） | |
| (2) 豊平消防団 | 5名 |
| (3) 札幌市医師会 | 〇名 |
| (4) 公益社団法人北海道看護協会（災害支援ナース） | 4名 |
| (5) 札幌医科大学付属病院（DMAT） | 5名 |
| (6) 各医療機関 | 〇名 |
| (7) 各大学 | 〇名 |

参加車両等（計5台）

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 東月寒水槽車 | 1台 |
| (2) 豊平救急車 | 1台 |
| (3) 非常用救急車（平岸5運用） | 1台 |
| (4) 消防学校救急車（西岡5運用） | 1台 |
| (5) エクモカー | 1台 |

必要資機材

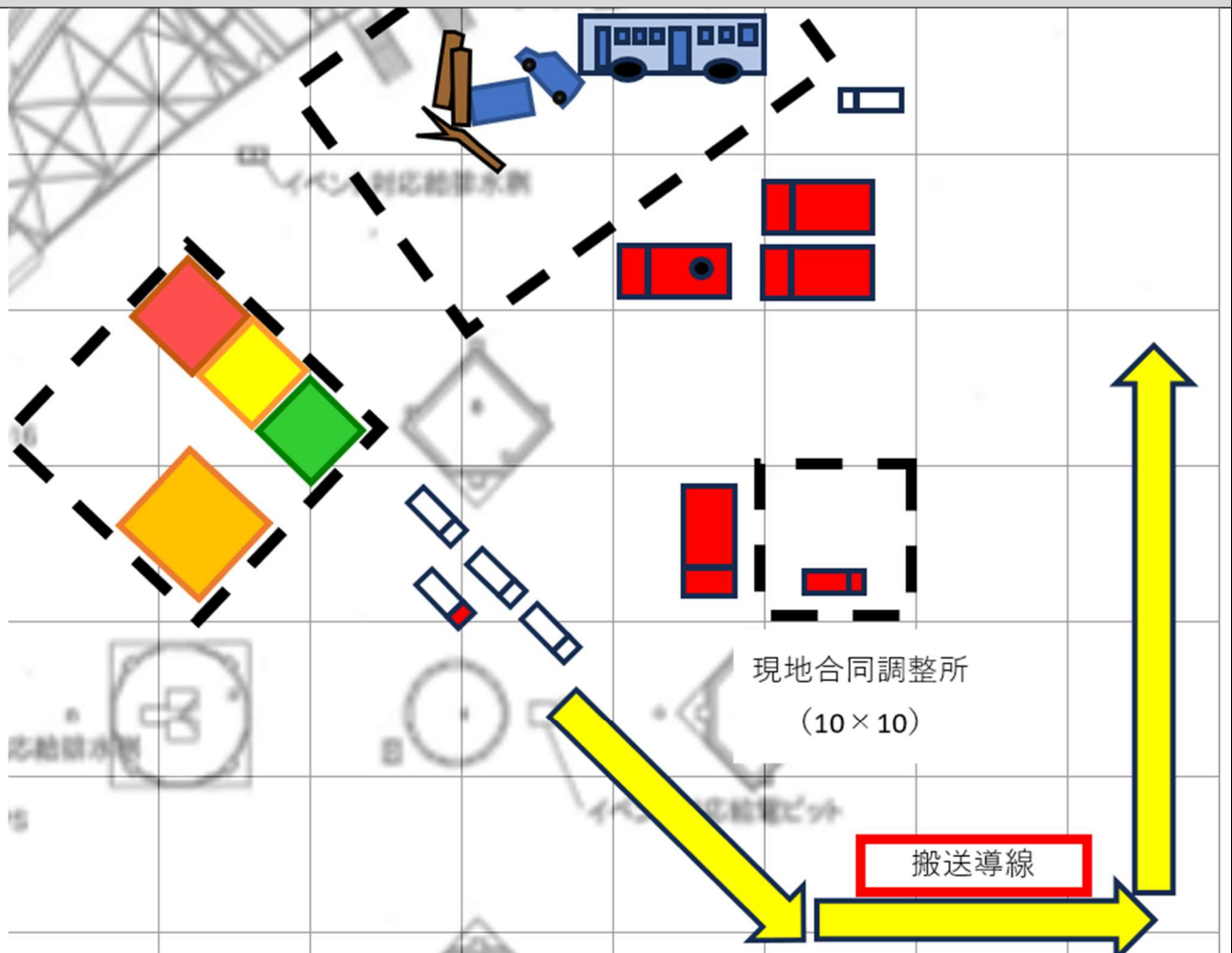
- (1) 各車両積載資器材
- (2) トリアージタグ×50枚（で調達）
- (3) 三角巾×50枚（で調達）
- (4) ガーゼ×100枚（で調達）
- (6) 応急救護所物品（豊平消防署で用意）
- (7) 折りたたみ担架×12（倒壊家屋・多重衝突現場と併用）

訓練行動

- 13:45 ・東月寒水槽隊により応急救護所の設置
・豊平救急係長から医療機関を含む各隊に活動方針の共有を行う
- 13:46 ・豊平救急隊が一次トリアージポスト兼緑ポスト、平岸救急隊が黄・赤ポスト、西岡救急隊が応急救護所内に配置
・ドクターカーは救助現場へ
・豊平水槽隊員が歩行可能な負傷者12名を緑ポストまで誘導
- 13:48 →処置開始（処置は医療機関を予定）
・東月寒水槽隊、消防団、自衛隊が歩行不能の負傷者8名を一次救出場所まで搬送
→一次トリアージポストで救急隊長がトリアージ
すべての要救助者を救出完了
- 14:05 要救助者の処置・搬送活動

検討事項～救急隊・医療関係者の配置、エクモカーでの処置、時間関係

会場図

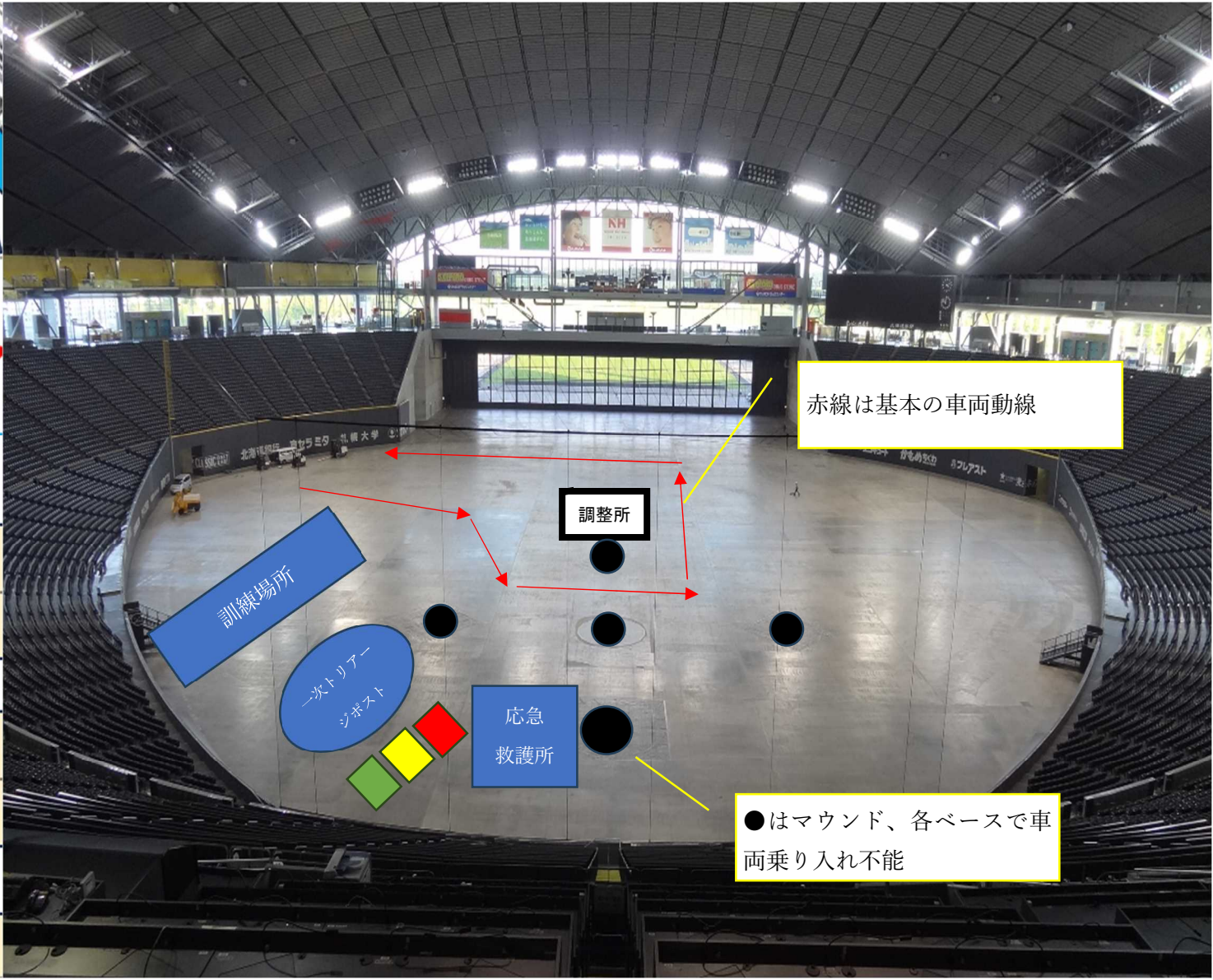
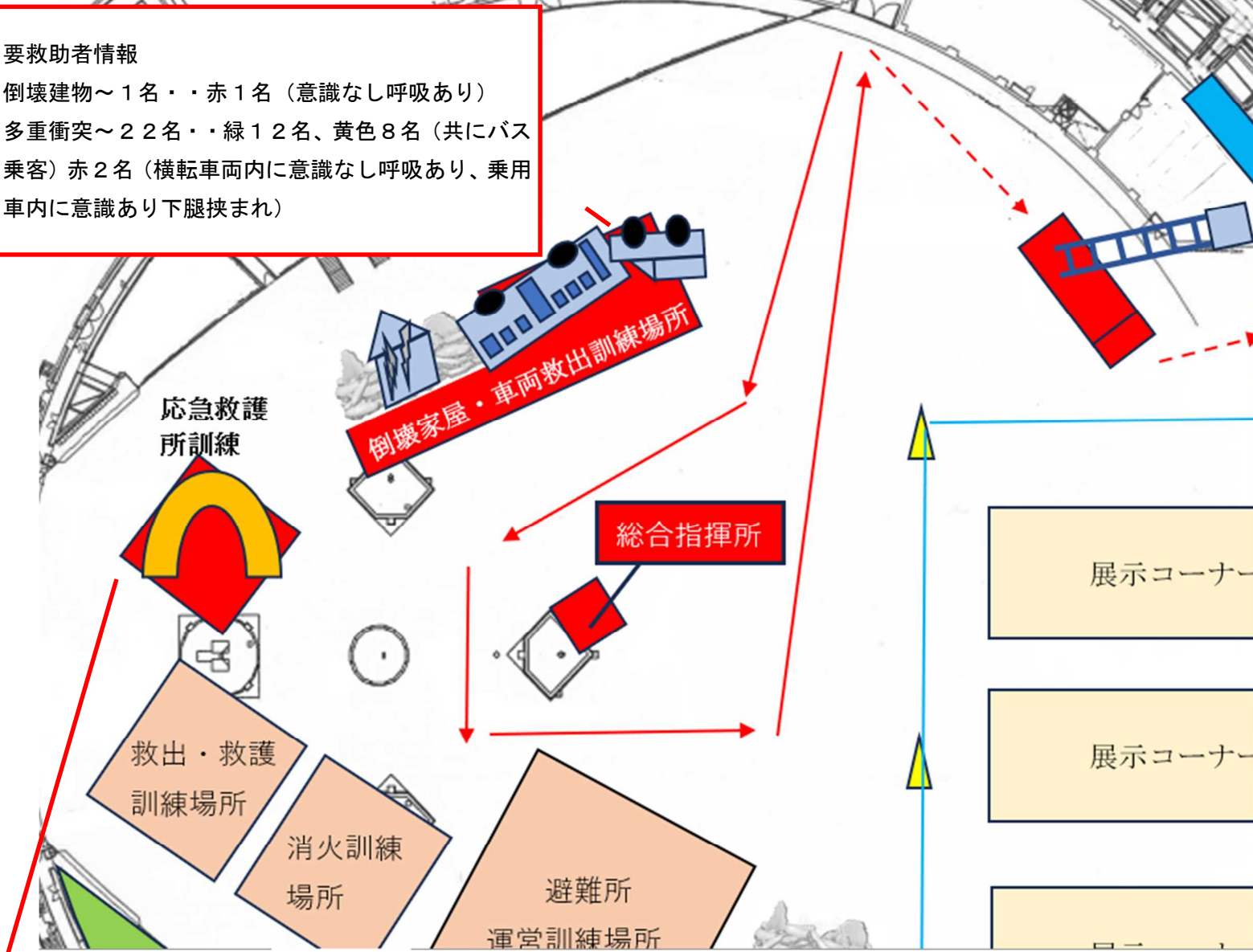


備考

- ・位置詳細は訓練図参照

令和6年度札幌市総合防災訓練 応急救護所設置・負傷者トリアージ訓練（13:45～14:20）

訓練内容：豊平消防署にて応急救護所を設置する。救助現場からの救出者及び避難途中の救出者を応急救護所で受入れ、医師・看護師、救急隊により負傷者のトリアージを実施し、救急車で病院へ搬送する。
参加機関：陸上自衛隊第11旅団、豊平消防署、北海道警察本部、札幌医科大学付属病院、公益社団法人北海道看護協会、札幌市医師会、豊平消防団、各医療機関、各大学



13:45～13:46

東月寒水槽隊により応急救護所の設置。（エアーテントは設定しておく。）

13:46～

- ①豊平水槽隊が自力歩行可能者を緑ポストまで誘導。
- ②豊平救急隊が一時救出場所で一次トリアージを実施
- ③

14:05～

すべての要救助者が救出完了

[illegible]

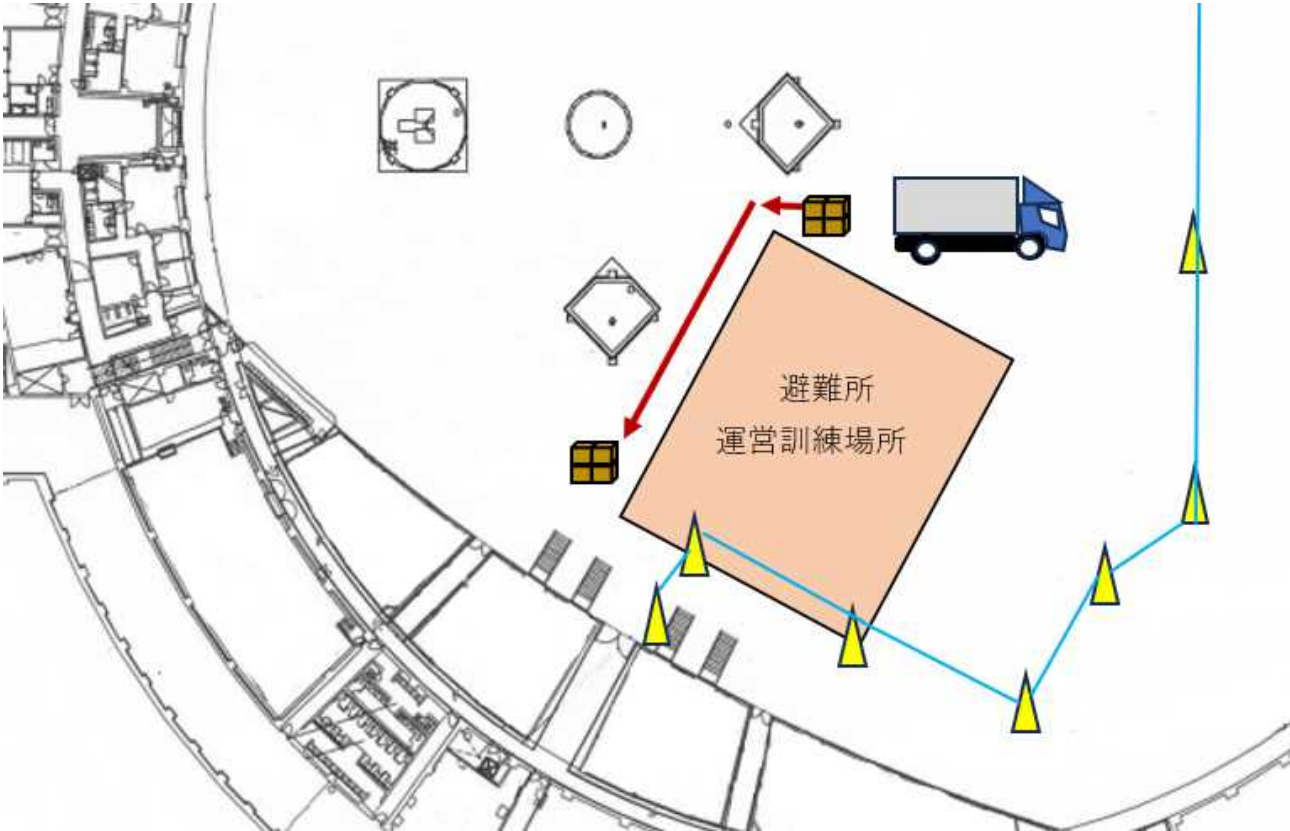
【10】避難所開設・運用訓練（訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
13 時 45 分から 14 時 40 分	札幌ドームアリーナ内
訓練概要	
避難所へ避難してきた方を受け入れるため、避難所の開設・受付・運用を行う。運用の際には各種事象（要配慮者・外国人・ペット同伴者・帰宅困難者）への対応も実施する。必要な事項は区対策本部へ防災無線を活用して適宜連絡を行う。避難所のネット環境等改善のため通信会社による給電・WiFi・映像環境の整備を行う。	
訓練行動	
1 13 時 45 分 避難者（ドーム内移動者）が到着、受付を実施しながら随時受け入れを行う。 ①外国人：多言語シートを使用して対応 ②ペット同伴者：ペットの待機場所の設置とゲージなどの貸出 ③要配慮者の場所を確保し、誘導する。 その他の避難者は、受付後、滞在スペース（あやかじめ毛布、簡易ベッドを設置）へ移動。 2 13 時 50 分 避難所開設セット内の多言語シートを活用するがコミュニケーションが難しいため、外国人対応のため、国際部（SCET）へ連絡し要請を行い対応してもらう。 3 14 時 00 分 避難所物資が到着。ペットのゲージの貸出。 4 14 時 05 分 【14】仮設トイレ設置訓練開始 5 14 時 10 分 【15】二次避難者の把握及び移動訓練開始 6 14 時 20 分 【16】給水・食糧配布訓練開始 6 14 時 40 分 要配慮者の二次避難終了、給水訓練も終了。	
参加団体及び人員（5 団体 計 40 名）	必要資機材
(1)豊平区役所 10 名（調整） (2)豊平区町連（開設・受入 南平岸地区、美園地区） 各 10 名 (3)国際プラザ職員 5 名程度 (4)通信業者 数名（調整）	(1)避難所開設セット（多言語シート入り）（豊平区役所で調達） (2)簡易ベッド（豊平区役所で調達） (3)毛布（豊平区役所で調達） (4)テーブル×6・椅子×12（札幌ドームから借用） (5)ネット環境等整備一式（通信業者で用意）
会場図	



備考

14 時 40 分からは避難所運営訓練場所を一般参加者向け休憩所、三角巾体験、AED・心肺蘇生法体験エリアとして解放

【11】 障害物除去訓練訓練 （訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
13 時 50 分から 13 時 55 分	札幌ドームアリーナ内
訓練概要	
避難所からの支援物資等搬送依頼を受け、搬送中にある道路障害物を除去し物資搬送のための経路を確立する。障害物を除去後、トラックにより、物資及び簡易トイレ等の搬送を実施する。	
訓練行動	
1 13 時 50 分 物資搬送車両通行道路上に障害物（倒木）があり、通行できないことから豊平区災害防止協力会により重機で障害物を除去する。 2 13 時 55 分 障害物を除去後、自衛隊車両の先頭で移動する。	
参加団体及び人員（3 団体 計 10 名）	必要資機材
(1)豊平区災害防止協力会 2 名（調整） (2)自衛隊 2 名（調整） (3)トラック協会 4 名（調整） (4)訓練協力団体（調整中） 2 名	(1)倒木（豊平区災害防止協力会で用意）
参加車両等（計 4 台）	
(1)豊平区災害防止協力会 重機 1 台 (2)自衛隊 車両 1 台 (3)トラック協会 2tトラック 2 台 (4)簡易トイレトレーラー 1 台	
会場図	
備考	

【12】避難物資搬送訓練（訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
13 時 55 分から 14 時 15 分	札幌ドームアリーナ内
訓練概要	
物資集積拠点となっている札幌ドームへ、札幌市に対して送られた支援物資等の搬送を行う。搬送後、フォークリフト又はカーゴにより荷下ろしを実施して避難所等へ搬送する。	
訓練行動	
1 13 時 55 分 障害物が取り除かれ、物資集積拠点への物資が到着。担当の市役所職員（経済観光局）管理のもと、物資をトラック 2 台から降ろし、集積場所へ搬送。 2 14 時 05 分 トラックから荷下ろしされた物資を避難所へ搬送するため、1 台のトラックに乗せて他の避難所へ搬送する。	
参加団体及び人員（3 団体 計 8 名）	必要資機材
(1)トラック協会 4 名 (2)札幌市経済観光局 3 名 (3)豊平区役所 2 名	(1)アルファ米（豊平区役所で調達） (2)段ボールベッド（豊平区役所で調達） (3)ペットゲージ（豊平区役所で調達） (4)かご台車（トラック協会で用意）
参加車両等	
(1)トラック協会 2t トラック 2 台 (2)フォークリフト 1 台	
会場図	
	
備考	

--

【13】高所救出・消火訓練（調整担当：豊平消防署）

実施時間 (14:05～14:20)

13:30 13:35 13:40 13:45 13:50 13:55 14:00 14:05 14:10 14:15 14:20 14:25 14:30 14:35 14:40 14:45 14:50 14:55 15:00 15:05 15:10 15:15 15:20 15:25 15:30

[illegible]

訓練会場

札幌ドームクローズドアリーナ内

訓練想定

石狩中部を震源とした札幌市直下型地震が発生。市内数か所において震度 7 を観測し、家屋の倒壊や火災が随所で発生したことに加え、電気、水道、ガスなどのライフライン機能の停止、国道を含む主要幹線道路が寸断されるなど全市域に甚大な被害を及ぼした。

訓練概要

高層ビルに取り残された要救助者2名の救出活動と、周辺地域の火勢拡大への消火活動のため、消防隊により一斉放水を実施する。

参加団体及び人員（4団体 計19名）

(1) 豊平消防署	7 名
(2) 豊平消防団	4 名
(3) 北広島市消防本部	4 名
(4) 江別市消防本部	4 名

参加車両等 (計4台)

(1) 平岸水槽車	1 台
(2) 平岸はしご車	1 台
(3) 北広島市消防水槽車	1 台
(4) 江別市消防水槽車	1 台

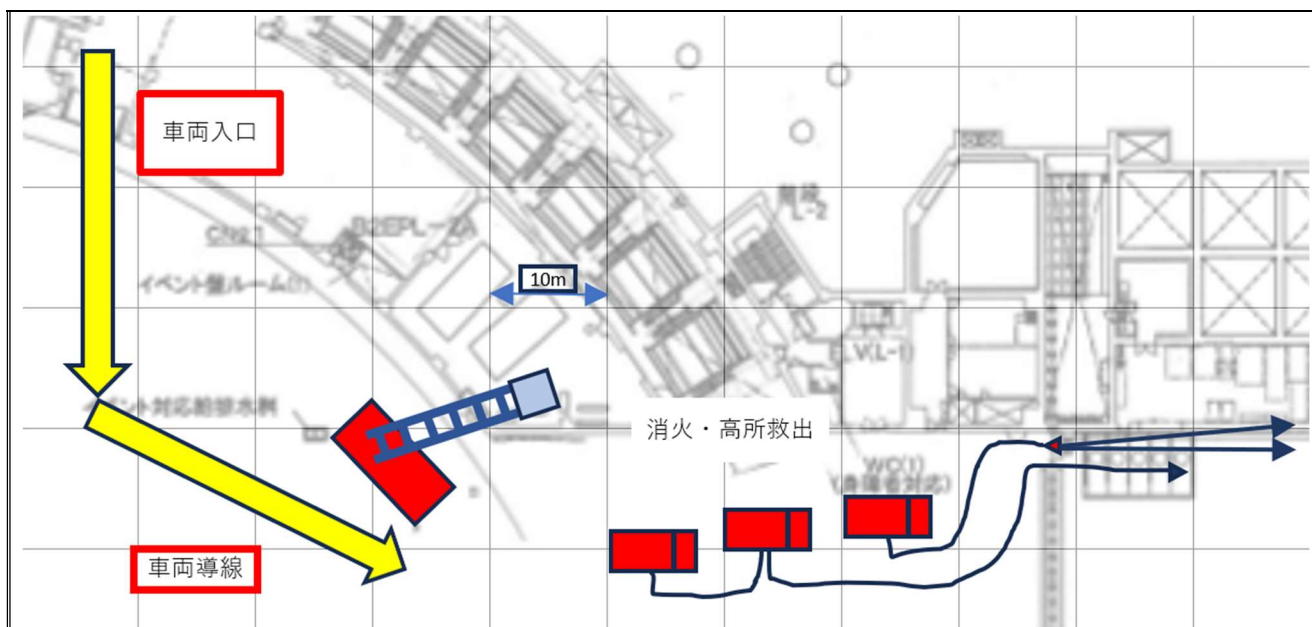
必要資機材

- (1) 各車両積載資器材
- (2) 発煙筒

訓練行動

14:05	・車両移動開始し作業姿勢や、ホース線の構築
14:20	・平岸機動水槽隊と平岸機動はしご隊が高所にいる要救助者（生体）を、はしご車を使用し救出を行う。 ・札幌市、江別市、北広島市の消防隊及び豊平消防団が連携して、屋外の火災現場に向かって一斉放水を行う。

会場図



備考

- ・ 位置詳細は訓練図参照

令和6年度札幌市総合防災訓練 高所救出・消火訓練（14:05～14:20）

訓練内容：高層ビルに取り残された要救助者2名の救出活動と、周辺地域の火勢拡大への消火活動のため消防隊により一斉放水を実施する。

参加機関：豊平消防署、豊平消防団、江別市消防本部、北広島市消防本部



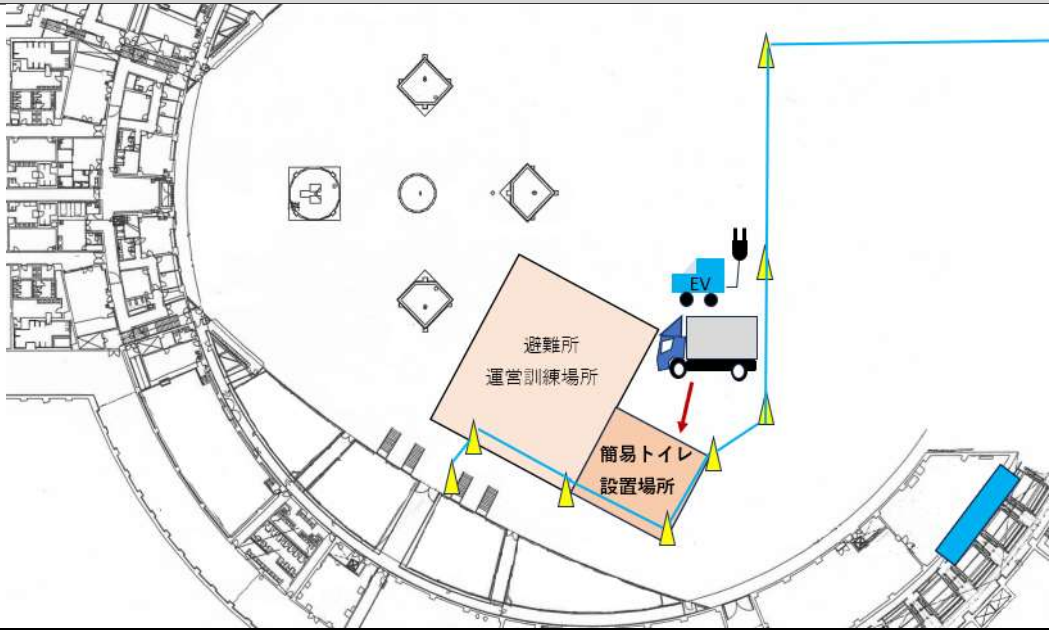
14:05～14:10

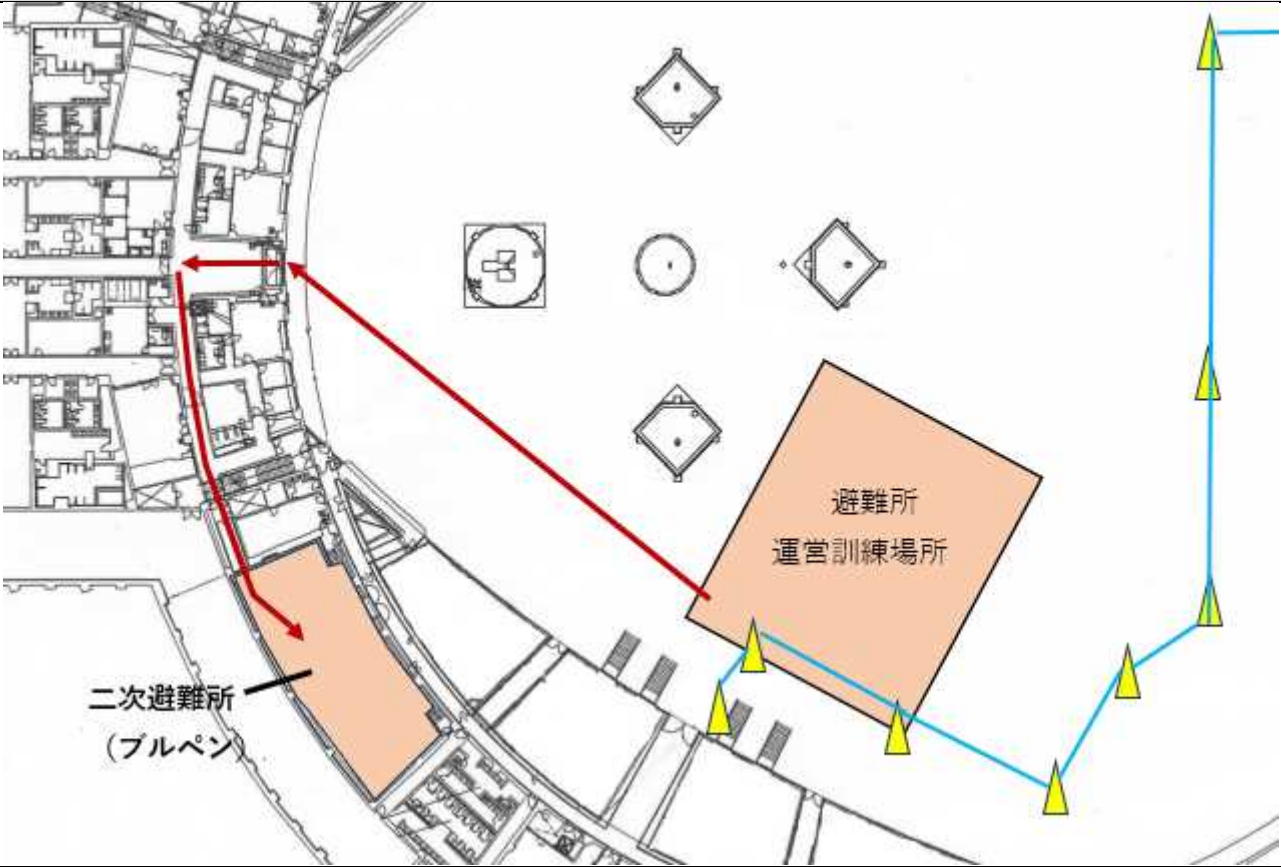
車両移動開始し作業姿勢や、ホース線の構築行う。

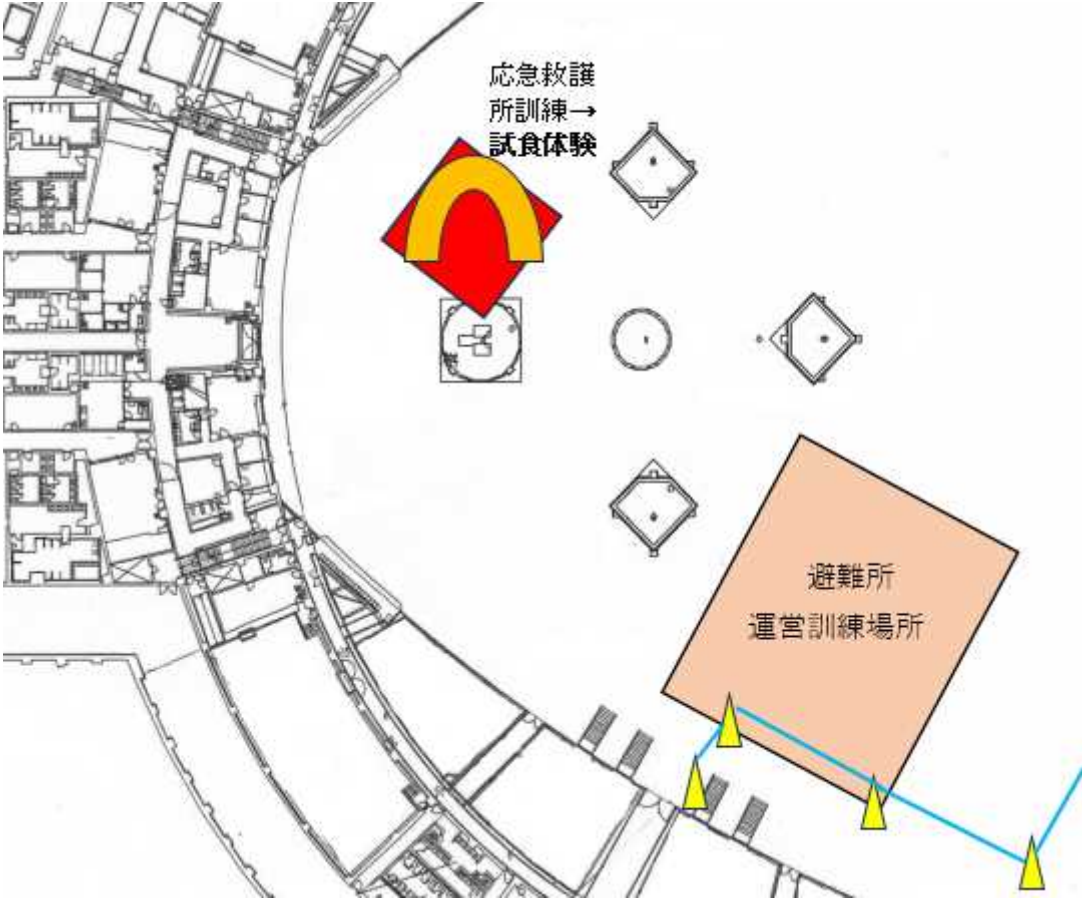
14:10～14:20

①平岸機動水槽隊と平岸機動はしご隊が高所にいる要救助者（生体）を、はしご車を使用し救出を行う。

②札幌市、江別市、北広島市の消防隊及び豊平消防団が連携して、屋外の火災現場に向かって一斉放水を行う。

【14】仮設トイレ設置訓練（訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
14 時 05 分から 14 時 30 分	札幌ドームアリーナ内
訓練概要	
避難所へ仮設トイレ（トレーラー型又は屋台型等）の設置を行う。併せて、簡易トイレ（テント型、マンホール型）の設置も実施する。仮設トイレ設置後、周囲に土嚢を積んで固める。簡易トイレの電源は電気自動車を使用する。	
訓練行動	
1 14 時 05 分 仮設トイレを積んだ車両が到着し、設置される。併せて、避難所にある簡易トイレの設置を行う。 2 14 時 15 分 簡易トイレの設置後周囲に土嚢を積んで固める。	
参加団体及び人員（4 団体 計 26 名）	必要資機材
(1)豊平区町連（中の島地区、東月寒地区）各 10 名 (2)訓練協力団体（調整中） 2 名 (3)豊平区災害防止協力会 4 名 (4)自動車メーカー 2 名	(1)土嚢（豊平区災害防止協力会で調達） (2)簡易トイレ（豊平区役所で調達）
参加車両等	
(1)仮設トイレトレーラー（10 t） 1 台 (2)電気自動車 1 台	
会場図	
	
備考	

【15】 二次避難者の把握及び移動訓練 （訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
14 時 10 分から 14 時 40 分	札幌ドーム（アリーナ内及びブルペン）
訓練概要	
避難所内に設置された、要配慮者スペースにおいて、区役所職員（保健班）により、要配慮者の二次避難について実態の把握、区災害対策本部への連絡、搬送までを実施する。	
訓練行動	
1 14 時 10 分 要配慮者避難スペースで二次避難所へ移動が必要な方の把握を区職員が行う。 2 14 時 15 分 必要な人数を、防災無線を活用し、災害対策本部へ連絡。 3 14 時 20 分 二次避難所（ブルペン）へ移動を開始。 避難時には、学生ボランティア及び施設関係者により実施。 4 14 時 40 分 移動完了	
参加団体及び人員（3 団体 計約 10 名）	必要資機材
(1)豊平区役所 数名 (2)要配慮者 数名 (3)学生 数名	(1)車いす（豊平区役所で調達）
会場図	
	
備考	

【16】給水・食糧配布訓練（訓練責任 豊平区役所）	
実施時間	訓練会場
14 時 20 分から 14 時 40 分	札幌ドームアリーナ内
訓練概要	
給水車を設置し、給水車から飲み水の給水訓練を実施する。あらかじめ作成していたアルファ化米等炊出しを配布し試食を実施する。	
訓練行動	
1 14 時 20 分 給水車到着。 2 14 時 25 分 給水活動開始。 3 14 時 30 分 アリーナ裏にある調理室でアルファ化米を札幌赤十字奉仕団が作成し、豊平区社会福祉協議会・豊平区ボランティア連絡会で避難所に搬送。配布、試食を実施する。 4 14 時 40 分 終了。	
参加団体及び人員（3 団体 計約 10 名）	必要資機材
(1)豊平区役所 2 名 (2)水道局 2 名 (3)札幌赤十字奉仕団 数名 (4)豊平区社会福祉協議会 豊平区ボランティア連絡会 10 名	(1)アルファ化米（豊平区役所で調達） (2)梱包物品（紙コップ、ラップ等）（豊平区役所で調達） (3)日赤炊出しセット（豊平区役所で調達） (4)ガスボンベ（LPG/5kg）（受託者で調達） (5)ガスボンベ用ホース（受託者で調達）
会場図	
	
備考	
14 時 40 分からは一般参加者向けの試食体験エリアとして応急救護所訓練エリアを解放	